

【平成14年度】設計課題「商店街に建つコミュニティ施設〔鉄骨造(純ラーメン構造)2階建)〕

1. 設計条件

ある地域の商店街において、商店街組合が運営し、その組合員及び地域住民が集会、催し、文化活動等に利用できるコミュニティ施設を計画する。

計画に当たっては、次の①～③に特に留意すること。

①敷地内に、南側道路(以下「表通り」という。)と北側の道路(以下「裏通り」という。)を結ぶ通り抜け通路(幅員1.5m以上)を設ける。

②敷地内に、祭りや餅つき大会などの各種イベント、休憩等に利用できる屋外スペース(以下「屋外イベントスペース」という。)を設け、1階の多目的室と一体的に利用できる計画とする。

③高齢者、身体障害者等に配慮した計画とする。

(1) 敷地

ア、形状、道路との関係、方位等は、図-1のとおりである。

イ、第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。

ウ、建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。

エ、敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ、電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

ア、鉄骨造(純ラーメン構造)2階建とする。

- ・基礎は独立基礎とする。
- ・柱は、角形鋼管(以下「ボックス柱」という。)とする。
- ・はりはH形鋼とする。
- ・スラブ及び外壁の材料は、自由とする。

イ、建築物の最高の高さは、10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。

(3) 延べ面積

必ず「250㎡以上、290㎡以下」とする。

(ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しない。)

(4) 職員構成

管理責任者1名、事務員2名

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

室名	設置階	特記事項
玄関	1階	・履物は履き替えないこととする。
事務室	1階	ア、15㎡以上とする。 イ、玄関に面して受付カウンターを設ける。
多目的室	1階	ア、商店街組合の総会、パーティー、ダンス教室等に利用する。 イ、屋外イベントスペースに面して設ける。 ウ、50㎡以上とする。 エ、天井高は、3m以上とする。
湯沸室	1階	ア、4㎡以上とする。 イ、流し台を設ける。
便所	1階	・男女別に設け、それぞれに洋風便器及び洗面器を各1個以上設ける。
車いす使用者用便所	1階	ア、1室設ける。 イ、広さは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。 ウ、出入口の幅の内法は、800mm以上とする。
倉庫	1階	・10㎡以上とする。
会議室	2階	・25㎡以上とする。
和室	2階	ア、華道・茶道教室等に利用する。 イ、12畳以上とし、床の間及び押入れを設ける。 ウ、入り口に下足入れを設ける。 エ、バルコニーを設ける。
洋室	2階	ア、絵画、手芸教室等に利用する。 イ、25㎡以上とする。
湯沸室	2階	ア、4㎡以上とする。 イ、流し台を設ける。
便所	2階	・男女別に設け、それぞれに洋風便器及び洗面器を各1個以上設ける。

(6) 階段、エレベーター及びスロープ

ア、建築物に2以上の階段を設ける必要はない。

イ、建築物内に、必ずエレベーター1台を設ける。

- ・エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
- ・駆動装置は、エレベーターシャフト内に収まるものとし、機械室は設けなくてよい。
- ・昇降ロビーは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。

ウ、建築物内又は敷地内の通路の計画において高低差が生じる場合は必要に応じてスロープ(勾配は、建築内1/12以下、敷地内1/15以下)とする。

(7) 通り抜け通路及び屋外イベントスペース

ア、敷地内に、表通りと裏通りを結ぶ通り抜け通路(幅員1.5m以上)を設ける。

イ、敷地内に、表通りに面して、30㎡以上の屋外イベントスペースを設ける。

(通り抜け通路の部分は面積に含まない)

- ・屋外イベントスペースと1階の多目的室は、一体的に利用できるものとし、直接行き来できるようにする。
- ・屋外イベントスペース内には、ベンチ、植栽、水飲み場を設ける。
- ・屋外イベントスペースは、建築物へのアプローチに利用してもよい。

(8) 駐車スペース及び駐輪スペース

敷地内に、裏通りに面して、小型乗用車(サービス用)1台分の屋外駐車スペース及び10台分の屋外駐輪スペースを設ける。なお、一般利用者の駐車スペースは、敷地の近くにあり、計画しなくてよい。

2. 要求図書

- 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規をもちいなくてもよい)。
- 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、ボックス柱及び壁については、図-2を参考に記入する。 ウ、1階平面図兼配置図に、通り抜け通路、屋外イベントスペース(範囲を一点鎖線で記入)、駐車スペース、駐輪スペース等を記入する。
(2) 2階平面図 (1/100)	エ、屋外イベントスペース内に、植栽、ベンチ、水飲み場を記入する。 オ、室名を記入する。 カ、所要室には、次のものを記入する。 ・事務室に、受付カウンター、机、椅子 ・会議室に、机、椅子 ・和室に、下足入れ ・湯沸室に、流し台 ・便所及び車いす使用者用便所に、洋風便器、洗面器 キ、2階平面図に、1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 ク、断面図の切断位置を記入する。
(3) 立面図 (1/100)	・南側立面図とする。
(4) 断面図 (1/100)	ア、切断位置は、1階の多目的室を含み1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ、建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(はり、スラブ、地中ばり等)を記入する。ただし、はり及びスラブについては図-3を参考に記入する。 ウ、建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
(5) 面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ、建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(6) 仕上表	ア、外部の主要な部位、(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ、内部(多目的室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。

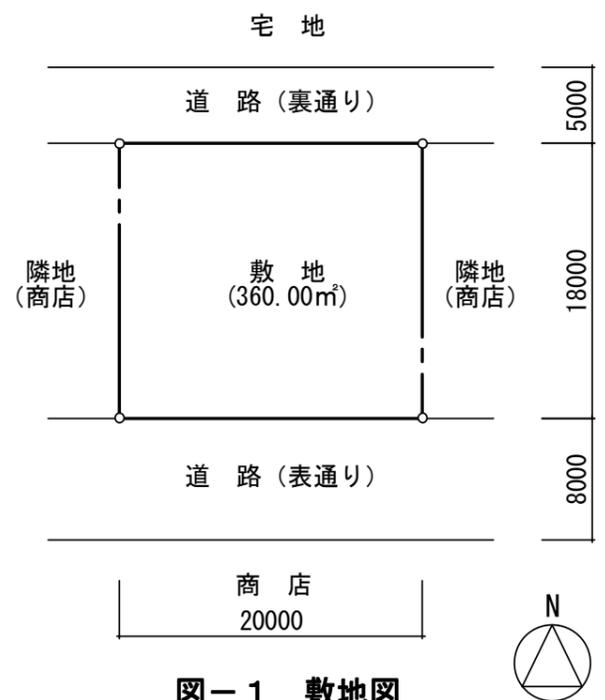


図-1 敷地図

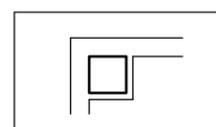


図-2 ボックス柱及び壁の参考図

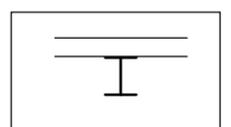


図-3 はり及びスラブの参考図